

令和5年度 川南町立唐瀬原中学校 学校評価書（自己評価及び学校関係者評価）

※それぞれ、4段階で評価しています。（4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する）

I 町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進

| 項目 | 評価指標及び具体的目標 | 方策・手立て | 自己評価 | | | 学校関係者評価 | | |
|----|---|---|------|----|---|---------|----|---|
| | | | 項目 | 総合 | 結果の考察・分析及び改善策等 | 項目 | 総合 | 考察・意見・感想等 |
| 1 | 【家庭教育支援の充実に努める。】 ①家庭教育学級の計画的な実施 ②教育に関する情報の提供・発信 | ○家庭教育学級の活動内容の精選・工夫 ○学級通信、学校ホームページ、C-Learning等による定期的な情報発信 | 4 | 3 | ①年間計画にそって島野浦学園視察研修、Xマスリースづくり講座を行った。また、町主催の教育講演会やミニバレーボール大会への参加もすることができた。 ②各学年・学級通信や保健だより等に加え、学校のホームページやC-Learningを活用して積極的に情報発信をすることができた。保護者へのアンケート調査では、「学校の情報発信」に関する質問項目において肯定的な回答の割合が高かった。（93.4%） | 4 | 3 | ○家庭教育学級の活動がコロナ禍で停止していたと思うが、再開できて良かった。 ○情報提供のためにホームページやC-Learningの活用を図っていて良い。 ○視察研修やミニバレーを通して保護者と先生がコミュニケーションをとれたことが良かった。 |
| 2 | 【学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。（PTA活動）】 ①地域人材を活用した教育活動の実施 ②学校運営協議会の活性化 ③PTAと連携した活動の推進 ④保護者が参加しやすい教育活動の工夫 | ○Team Kawaminami 学びのネットワークづくり事業の積極的活用 ○学校運営協議会からの意見等を踏まえた教育活動の改善 ○PTA組織との協働を生かした教育活動の推進 ○保護者のニーズに応じた参観授業等の実施 | 3 | 3 | ①地域学校協働活動推進員を通して、様々な地域人材の協力を得ることができ、総合的な学習の時間におけるSDGsに関する学習、平和学習、福祉体験学習に関する講話等、様々な教育活動を実施することができた。 ②計画通り実施し、学校運営協議会委員の意見等を学校経営の改善に役立てることができた。 ③④計画的にPTA三役会等を実施して保護者の意向や思いを確認することができた。次年度に向けてPTA組織の改革や参観日における活動の見直し(12月のPTAミニバレー)にも着手できた。また、保護者がより参加しやすくなるような手立てを講じながら体育大会や文化祭等を実施していく予定である。 | 3 | 3 | ○地域学校協働活動推進員の方の適切な支援があり、学校として良い活動ができていると思う。 ○地域学校協働活動推進員の方には、今後、学習サポートに関する支援もお願いしたい。 ○PTA活動が活発に運営されていて心強く感じた。 ○PTA活動も大切だと思うが、先生たちが働きやすい環境をつくってほしい。 |

II 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人財を育む教育の推進

| 項目 | 評価指標及び具体的目標 | 方策・手立て | 自己評価 | | | 学校関係者評価 | | |
|----|--|---|------|----|--|---------|----|--|
| | | | 項目 | 総合 | 結果の考察・分析及び改善策等 | 項目 | 総合 | 考察・意見・感想等 |
| 1 | 【読書活動を推進する。】 ①学校図書室の整備と組織的な運営 ②生徒の読書意欲を高める活動の推進 ③読書機会の充実 | ○町立図書館と連携した読書活動の推進 ○魅力ある学校図書室の設営と運営 ○本や新聞を読む活動の実践 | 3 | 3 | ①②③今年度も生徒が利用しやすい図書室の整備、図書委員会の活性化、読み聞かせ活動の実施等に取り組んだ。図書室にクリスマスツリーを飾ったりしながら、読書や図書室への関心を高める工夫を行った。定期的に地域の読み聞かせボランティアの方々に来校していただき、読書への関心を高める活動に取り組んでいる。なお、RST（リーディングスキルテスト）の結果を見ると、学力と読み取る力の相関が明らかになっており、今後も読書活動の推進に取り組んでいく必要があると思われる。 【参考データ】 R4 読書冊数：2718冊、 図書室来室者数：4068名（年間） R5 読書冊数：2892冊 図書室来室者数：4342名（R6.1.31時点） | 3 | 3 | ○読書活動の推進においては、図書室の設営等、読書意欲の向上につながる活動をされていると思う。 ○読み聞かせ活動の継続に感謝したい。また、読み取る能力の育成は国語のみでなく、数学等の力にもつながるので取り組んでほしい。 ○タブレットだけではなく、図書室の本を利用して調べるなど、授業のやり方を少し変えてみるのも良いと思う。 |

| 項目 | 評価指標及び具体的目標 | 方策・手立て | 自己評価 | | | 学校関係者評価 | | |
|----|---|---|------|----|--|---------|----|--|
| | | | 項目 | 総合 | 結果の考察・分析及び改善策等 | 項目 | 総合 | 考察・意見・感想等 |
| 2 | <p>【確かな学力を育む教育を推進する。】</p> <p>①生徒が主語となる授業づくりによる読解力の育成 ②ICT（タブレット等）の活用 ③家庭学習の改善・充実 ④学びの場の充実</p> | <p>○読解力（語彙力、思考力・要約力、表現力）の育成に視点を置いた授業改善 ○タブレットや電子黒板等の積極的な活用 ○家庭学習の習慣化を図る指導の充実 ○放課後等の補充学習や公営塾への参加</p> | 3 | | <p>①宮崎大学教育学部と連携して、読解力育成に資する授業づくりの視点について研修を行った。また、川南町の取組であるRST（リーディングスキルテスト）を実施し、その結果分析を踏まえて授業改善の手立て等について共通理解を図ることができた。 ②昨年度、本校は県のICT活用推進モデル校に指定された。継続して、授業、生徒会活動、学校行事等におけるタブレット端末の活用、タブレット端末の家庭への持ち帰り訓練及びオンライン授業、相互授業参観等に積極的に取り組んだ。 ③アンケート調査の結果を見ると、「家庭学習」に関する質問項目における肯定的な回答の割合について、生徒と保護者・教職員で差がある。現在、そしてこれからの社会においては「主体的な学び」が求められており、今後、よりよい家庭学習の在り方について検討していく必要がある。 ④町教育委員会と連携して公営塾を開設し、3年生にとつての学びの機会とすることができた。</p> | 3 | | <p>○以前よりも取組が進んでいると思う。宮崎大学教育学部との連携やタブレット活用の取組が家庭学習の充実につながると思う。 ○生徒の実力に合った宿題でなければ、答えを見るだけになってしまわないか。 ○公営塾は本当に有り難いと思う。一人でも多くの生徒のやる気スイッチを押すチャンスになってほしいと願う。</p> |
| 3 | <p>【人権を尊重し豊かな心を育む教育を推進する。】</p> <p>①人権教育の推進 ②道徳教育の推進 ③いのちを大切にする教育の充実 ④悩み調査や教育相談の実施 ⑤いじめ・不登校への組織的な対応 ⑥生徒を主体とした活動の推進 ⑦小中一貫した「心の教育」の実践</p> | <p>○言語環境の整備と人権講話の実施 ○全職員で取り組む道徳の時間の授業実践 ○いのちの教育週間集会の実施 ○毎月1回の生活アンケートと定期的な教育相談の実施 ○いじめ・不登校対策委員会の定期的な実施 ○学校行事等における生徒会活動の活性化 ○町NF教育研究会による「川南レインボーサミット」への参加</p> | 3 | 3 | <p>①②年間を通して計画的に人権に関する学習や道徳の授業を実施できた。また、「犯罪被害者」に関する人権講話も行った。生徒へのアンケート調査では、「いじめ」や「善悪の判断・おもしろい心」に関する質問項目において今年度も肯定的な回答の割合が高かった。（「いじめは絶対にダメ」：97.0%、「善悪の判断・おもしろい心」：95.8%） ③今年度も薬物乱用防止教室、がん予防教室、性教育に関する授業を実施し、年間を通して計画的に「いのちを大切に」する教育に取り組んだ。 ④定期的に悩み調査と教育相談を実施した。 ⑤いじめ・不登校への組織的な対応として、毎月、いじめ・不登校対策委員会を開催するとともに、生徒指導部や学年組織等を活用して、組織で継続的に対応するようになった。 ⑥生徒が主体となって、生徒会活動の活性化や体育大会、文化祭、修学旅行等の学校行事の企画・運営に取り組んだ。自分で考え、行動し、振り返ることができるようになってきたと感じる。生徒と保護者へのアンケート調査では、「学校行事や生徒会活動の取組」に関する質問項目において肯定的な回答の割合が高かった（生徒：82.7%、保護者：78.2%）。今後も生徒主体の教育活動を推進していきたい。 ⑦「川南レインボーサミット」への参加を通して、中学生としての自覚や行動力の醸成に努めた。</p> | 3 | 3 | <p>○いじめや不登校の増加、多種多様な犯罪の発生等、様々な課題がある現在の全国的な状況を踏まえると、豊かな心の育成における家庭の役割がますます重要になってくるのではないかと。 ○体育大会や文化祭に生徒が意欲的に取り組んでおり、うまくできていると思う。 ○唐瀬原中の取組は評価できると感じる。 ○生徒会活動について協議している場面を見てみたい。</p> |
| 4 | <p>【特別支援教育を推進する。】</p> <p>①特別支援学級の教育活動の充実 ②校内支援体制の工夫・改善</p> | <p>○地域の人材や施設等を活用した教育活動の推進 ○生徒の実態に応じた支援体制の構築及び学校支援員の効果的な活用</p> | 3 | | <p>①特別支援教育コーディネーターを中心に全職員で協力して、生徒一人一人に応じた指導を行うようにした。また、地域人材を講師に招いて生活単元学習を実施したり、校外での学習体験の機会を設定したりした。 ②特別支援学校と連携して居住地域交流を実施することができた。また、本校職員が講師として市内の小学校に出向き特別支援教育の講話を行った。</p> | 3 | | <p>○年々、通常学級における特別支援教育的な対応の必要性が、増えてきているように感じる。 ○一人一人への対応は大変だと思うが、体験型の授業等を取り入れながら、社会で自立していける力の育成に努めてほしい。（特別支援学級の取組について）</p> |
| 5 | <p>【郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育を推進する。】</p> <p>①ふるさと学習の充実 ②地域活動への積極的な参加 ③川南町歌を歌う機会の充実</p> | <p>○地域の人材や資源を活用した地域交流学習の実施 ○町行事、地域行事等への積極的な参加 ○学校行事における町歌斉唱の実施</p> | 3 | | <p>①総合的な学習の時間において、ふるさと川南に関する学習や職場体験学習等を計画的に実施した。 ②「ロードレース大会 inかわみなみ」や「DISCOVERY GOURMET RIDE IN KOYU・SAITO」等のイベントに多数の生徒がボランティアスタッフとして参加したり、図書館ボランティアやジュニアリーダーの活動に継続的に取り組んでいる生徒がいたりするなど、地域活動に参加する生徒が増えた。 ③学校行事の精選を行うなか、川南町歌を歌う機会の確保が難しかった。</p> | 3 | | <p>○地域への参画、特にボランティア活動に参加する生徒が増えてきていると聞き、良いことと思う。 ○町歌斉唱はユニークな取組で、生徒の記憶に残ると思うと楽しみである。 ○イベントボランティアを行政にお願いして、様々な企業へ行けるよう工夫してほしい。</p> |

| 項目 | 評価指標及び具体的目標 | 方策・手立て | 自己評価 | | | 学校関係者評価 | | |
|----|---|---|------|----|--|---------|----|--|
| | | | 項目 | 総合 | 結果の考察・分析及び改善策等 | 項目 | 総合 | 考察・意見・感想等 |
| 6 | 【キャリア教育を推進する。】 ①「キャリア・パスポート」及び「生活の記録」の活用推進 ②地域人材等を活用した活動の推進 ③進路指導の充実 | ○「キャリア・パスポート」及び「生活の記録」を活用した「振り返り」の習慣化 ○職場体験学習や職業人の声を聞く会の実施 ○高校説明会や三者相談の実施 | 3 | 3 | ①大きな学校行事の実施において「キャリア・パスポート」を活用して、目標の設定や成果の振り返り等を行うようにした。 ②これまで説明してきたように、様々な教育活動において積極的に地域人材を活用した。 ③計画的に高校説明会や三者相談を実施して、生徒の進路意識の醸成に努めた。生徒へのアンケート調査では、「進路への関心」に関する質問項目において肯定的な回答の割合（80.2%）が高かった。 | 3 | 3 | ○職場体験学習は毎年同じような活動になっているので、実施方法や内容等の工夫改善に取り組んでほしい。 |
| 7 | 【社会の変化に対応した多様な人財を育む教育を推進する。】 ①個に応じた教育支援の推進 ②ICTを活用した個別学習の充実 | ○生徒一人一人の良さや頑張り の称賞・紹介 ○子に応じた学習内容の選択・提供（タブレット） | 3 | 3 | ①今年度も生徒一人一人にしっかり関わることを大切にしながら、教育的支援を行った。 ②生徒がタブレット端末を活用しながら自分のニーズに応じた学習課題等を選択できるような授業づくりに努めたり、生徒一人一人の状況に応じた柔軟な使い方の工夫に取り組んだりした。次年度は、川南町全体でA Iドリルの導入を予定されており、個別学習のさらなる充実に努めていきたい。 | 3 | 3 | ○A Iドリルの今後の動きに期待している。 ○タブレット端末やA Iドリル等をどんどん活用して欲しい。 ○今の子供たちにとって、社会はそれほど変化していない。ついていけないのは大人である。タブレットはあくまで一つのツールであり、使う目的や成果を意識してほしい。 |

III 教育を支える体制や環境の整備・充実

| 項目 | 評価指標及び具体的目標 | 方策・手立て | 自己評価 | | | 学校関係者評価 | | |
|----|--|--|------|----|---|---------|----|---|
| | | | 項目 | 総合 | 結果の考察・分析及び改善策等 | 項目 | 総合 | 考察・意見・感想等 |
| 1 | 【教職員の資質向上と働き方改革の推進に努める。】 ①コンプライアンスの徹底 ②職員研修の実施 ③風通しのよい職場環境づくり ④新しい研修制度を踏まえた校内研究の工夫改善 | ○コンプライアンスチェックシートの活用等による教職員の意識向上と実践化 ○服務規律の徹底に関する研修機会の設定 ○一人で抱え込まない関係づくりの推進 ○リーディングスキルテストの結果分析及び宮崎大学との連携を生かした授業改善等 | 3 | 3 | ①年に2回、コンプライアンス・チェックシートを活用してコンプライアンス意識の向上を図るとともに、職員研修を実施して服務規律の徹底に取り組んだ。 ②職員のニーズに応じた職員研修を実施した。 ③④職員同士で授業づくりについて意見の交流を図るようにした。また、各学年部における情報交換や協議を積極的に行い、学年・学級経営の充実に努めた。 | 3 | 3 | ○コンプライアンスの推進は避けて通れないことであり、非常に大変だと思うが、全職員で共通理解を図りながら進めていっていただきたい。 ○先生たちが1日1時間でもリフレッシュできる時間をつくってほしい。 |
| 2 | 【安全、安心な教育環境の整備・充実に努める。】 ①安全点検の実施 ②交通安全指導の実施 ③避難訓練の実施 ④通学路の安全確保 ⑤感染症対策の徹底 | ○要修理箇所の手やかな修繕 ○交通安全指導の徹底 ○関係機関と連携した避難訓練の実施 ○通学路危険箇所等の確認 ○生徒・保護者に対する情報提供の充実 | 3 | 3 | ①毎月定期的に校内施設の安全点検を実施し、必要に応じて町教育委員会に修繕を依頼した。 ②④今年度当初に交通安全教室を実施するとともに、必要に応じて自転車通学生を集めて交通安全の徹底について指導を行った。また、年間を通じて、通学路の見回りや登下校指導を行った。交通安全の徹底については今後も継続的に指導していく。 ③計画通りに避難訓練（地震、火災）実施することができた。生徒へのアンケート調査では、「避難訓練や防災等に対する意識」に関する質問項目において肯定的な回答の割合が高かった。（87.7%） ⑤年間を通じて感染症対策を行ったが、臨時休業をせざるをえない状況もあった。 | 3 | 3 | ○安全・安心、何事もまずは点検を大切にしてほしい。 ○困難な状況下での先生方の奮闘に感謝しつつ心配している。県教育委員会の配慮を熱望する。 ○ヘルメットは皆かぶっている。道路が広がって運転したり、一時停止を無視したりしないように気をつけてほしい。 |

IV 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進

| 項目 | 評価指標及び具体的目標 | 方策・手立て | 自己評価 | | | 学校関係者評価 | | |
|----|---|--|------|----|---|---------|----|---|
| | | | 項目 | 総合 | 結果の考察・分析及び改善策等 | 項目 | 総合 | 考察・意見・感想等 |
| 1 | <p>【学校体育の推進に努める。】</p> <p>①保健体育科の授業の充実 ②部活動の推進</p> | <p>○運動に親しむ生徒を育成するための授業改善 ○部活動の充実（運動部活動指導員や外部指導者の活用も生かして）</p> | 3 | 3 | <p>①運動量の確保に努めたり、タブレット端末の活用やグループ学習等を取り入れたりしながら、生徒が楽しく参加できる授業づくりに取り組んだ。また、体育大会において生徒がより主体的に活動できるように実行委員会の活動等を活性化させ、生徒の積極的な参加を促した。</p> <p>②地区中総体や地区中秋体等においても多くの団体や個人が好成績を残すことができた。生徒へのアンケート調査では、「自己の健康保持増進」に関する質問項目において肯定的な回答の割合が予想より若干低く（78.9%）、今後も健康への意識を高めていく必要がある。</p> | 3 | 3 | <p>○体育の授業や部活動は様々な形へ変化しているが、体育活動の推進は大切なことと考える。</p> |